

令和2年4月10日

国土交通省鉄道局 御中

静岡県

有識者会議の委員候補者（案）について

リニア中央新幹線静岡工区に係る有識者会議の「委員候補者（案）」について、別添のとおり回答する。

この委員候補者（案）は、12名の応募の中から、厳正なる審査の結果、選ばれた2名である。

貴省におかれてはこの委員候補者（案）を踏まえ、1月30日に貴省に申し入れて合意を得た五項目（会議の公開、全47項目の議論、JR東海への指導、委員の中立公正、座長の中立性）に基づき、改めて委員の選定を行っていただきたい。

また、有識者会議の開催時期や方法については、現在の感染症拡大防止に向けた社会状況を十分勘案の上、改めて御提案いただきたい。

南アルプス並びに大井川水系の生物多様性の保全は、水の戻し方にも関わる極めて関連性の高い問題であり、47項目の中に位置付けられるテーマでもある。

それゆえ、生物多様性の問題に係る有識者についても、専門家はどのような方なのか、またどなたを座長にするのか、委員構成（案）を双方が合意した上で公表しておくことは、中立公正を担保するために、極めて重要である。

そこで、水循環に関する委員候補者と併せて、生物多様性を議論する場合の座長・構成委員（案）の「全員」を構成員名簿として明記していただきたいことを改めて申し上げる。

なお、中下流域の水資源への影響が出たときの補償の件は大変重要な案件であるため、影響評価の方法や評価期間等については、有識者会議にお

いて議論いただきたい。

また、リニア沿線の本県以外の他の地域でも、トンネル工事等により水資源に影響が出る可能性があることから、リニア沿線の他の地域に対しても本県と同一の補償方針を適用するよう、貴省から J R 東海に対して指導していただきたいことを申し上げる。